

2020年度 決算説明会における主な質疑応答

※説明会での質疑応答をそのまま書き起こしたのではなく、簡潔にまとめております。

【各事業に関するご質問】

<運輸業に関して>(決算説明会資料P6～P8 参照)

Q 鉄道・バス事業の回復の見通しについて教えてください。

A ニューノーマル下で人々の行動様式が変化しており、2022年度末においてもコロナ前の9割程度までしか戻らないと想定している。ワクチン接種が進むことにより、国内のイベントや観光需要が回復することが期待され、そういった需要をしっかりと取り込むことで元の水準に持っていきたいと考えている。

<国際物流事業に関して>(決算説明会資料P11～P12 参照)

Q 2020年度第4四半期で航空輸出が大幅に改善しているが、その要因と品目を教えてください。

A 物流業界全体の取り扱いのうち99%は船便であるが、コンテナ不足の影響などにより、その数パーセントが航空便に流れたため、航空輸出が大幅に改善した。品目は、半導体関係や自動車関係が好調であった。特に、自動車関係の品目は、アメリカで生産活動が活発になったことにより、2021年2月・3月が大幅に増加した。

Q 航空貨物の販売価格が年末に急上昇し高止まりしている。また、半導体・自動車関連事業において、リードタイムが厳しくなっていると聞いている。これらについて、計画ではどのように織り込まれているか教えてください。

A 2021年4月以降は、貨物輸送の船便から航空便への転移は落ち着くと想定しているため、航空貨物の販売価格は前年に比べ下落すると計画している。取扱数量については、前年に比べ増加すると計画している。

【会社全体に関するご質問】

<通期業績予想について> (決算説明会資料P19、P51～P57 参照)

Q 下ぶれた場合の方策、コスト削減余地などについて教えてください。

A 下ぶれた場合、鉄道・バス・ホテルなどにおいて、収入に連動した変動費も併せて減少する。また、2021年度計画は抑制ベースで作成しているが、広告宣伝費や修繕費などの固定費について、さらに精査を行うことで一定の削減の余地(10～20億円)はあると考えている。それでも、厳しい状況であるならば、保有資産の売却などといったことを検討する。

<株主配当について> (決算説明会資料P24 参照)

Q 2022年度の計画では、利益水準はコロナ前に戻るが、財務状況はコロナ前の水準に及ばないとなっている。配当についてどのタイミングで従来水準に戻すのか教えてください。

A 継続的・安定的に配当を行っていくことが大事だと考えている。2022年度の財務状況はコロナ前の水準に及ばない計画であるが、保有資産の流動化や売却の検討を始めているところであり、できるだけ早いタイミングでコロナ前の水準に戻したいと考えている。

<資本性資金の調達について> (決算説明会資料P25 参照)

Q ハイブリッド社債の発行を決定したが、今後、資本性資金の調達を考えているか教えてください。

A 資本性資金の調達については、コロナの収束状況や(仮称)新福岡ビル等天神再開発の状況を見ながら考えることもあり得るが、確定的なことは今のところ申し上げる状況ではない。

【大型プロジェクトに関するご質問】

<福ビル街区建替プロジェクトについて> (決算説明会資料P35 参照)

Q (仮称) 新福岡ビルのリーシング状況を教えてください。

A 福岡は、東京一極集中から地方へという流れやアジアに近接している地理的特性から、地方中核都市の中でも非常に評価して頂いている。その福岡で立地の良いハイスペックビルを保有することは、オフィス・テナント誘致に優位に働くと考えている。実際の誘致状況は、相手があることなのでお話しできないが、非常に良い反応を頂いている。

<福岡空港特定運営事業等について> (決算説明会資料P37 参照)

Q 福岡国際空港の回復の見通しについて教えてください。併せて、ビジネス需要・観光需要の見通しについても教えてください。

A 国内線については、ワクチン接種が進むことにより、イベントや観光需要が回復し、2021年度の後半から戻り始めると想定していると聞いている。国際線については、IATA (国際航空運送協会) において最速で2024年度に元のレベルに戻るという想定があることを踏まえ、2022年度はアジアなどの近距離が徐々に戻り、2023年度末には元のレベルに戻ると想定していると聞いている。

ビジネス需要については、オンライン会議の定着などにより一定程度戻らないことが想定されるが、観光需要については、海外路線誘致において非常に前向きな反応を頂いていることや、滑走路の増設が予定されていることなどにより、ビジネス需要の減をカバーできるほど増加することが見込まれ、さらに上乗せもできる感触であると聞いている。

以 上